

一般質問

市政全般にわたり20人の議員が質問



市民との共有財産となる 公文書管理を！

加藤 陽子 議員《会派に属さない議員》

公文書管理法では、公文書を健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源として、国民が主体的に利用できるものとしています。しかし、本市では文書管理の条例がなく、公文書を市民との共有財産、共有資源と位置付けて明文化がされていません。また、座間市文書管理規程では公文書の作成に関する事項が規定されておらず、作成する文書は各課にゆだねられています。現状では、市民の知りたいという思いにこたえないと考へます。市民の知る権利を保障するためには、意思決定過程、事務執行過程のわかる文書が作成され、その文書を見ることができ、その文書が必要とすることができる仕組みが必要です。公文書の作成義務を明文化する必要があると見解、また、公文書の作成、整理、保存、移管、廃棄等一元的な文書管理を規定する条例の制定についての見解を伺います。

星野 久美子 議員《日本共産党》

子供の貧困問題解決に向けて 保護者への支援強化を



子供の貧困問題が非常に深刻です。ひとり親世帯の、ある母親は、正規の仕事が見つからず非正規でダブルワーク、時にはトリプルワークをして家計を支えています。3つの仕事でいわゆる金銭的貧困には陥っていませんが、心も体も疲労を抱え、子供との時間も十分にとれない状況です。保護者の貧困問題の解決は不可欠だと考へます。子どもも来部では子供にかかわる諸問題に取り組んでいます。子供の貧困問題解決に向けた担当部局、または協議体等を組織し、より深く取り組むべきと考へますが見解を伺います。また、海老名市、大和市では

内藤 幸男 議員《自民党・いさま》

県立座間養護学校と 福祉避難所として協定締結を



神奈川県では、障がい者が生活しやすい設備や機能がある特別支援学校を福祉避難所として進めており、現在、県内28校のうち19校が、既に14の市区町村と協定を締結しているとのこと。本市入谷にある県立座間養護学校は、内閣府の福祉避難所の確保・運営ガイドラインで定める福祉避難所の指定要件である施設の耐震性の確保やバリアフリー化、避難スペースの確保など福祉避難所として指定される条件をクリアしています。さらに、一次避難所である入谷小学校、県立座間高等学校が近く、障がい者の方々にとって福祉



人口減少対策として小児医療費 助成拡大と中学校給食を

中澤 邦雄 議員《日本共産党》

5年に一度の国勢調査が昨年行われ、昨年の本市の人口は、12万8737人で、5年前に比べて699人減少しています。一方、周辺5市は相模原市が3265人、大和市が4736人、厚木市が1294人、海老名市が2483人、綾瀬市が1293人、いずれも増えています。平成26年1年間の人口動態によると、本市は出生者数より死亡者数が116人多い自然減ですが、海老名市は213人、大和市は337人、厚木市は68人、綾瀬市は69人、いずれも自然増になっています。周辺他市が中学3年生まで小児医療費助成と中学校給食を実施しているのに対し、本市は実施していないことが主な原因と考へられます。そこで、中学3年生までの小児医療費助成と中学校給食を実施し、人口減少対策とすべきと考へますが市長の見解を伺います。

高波 貴志 議員《自民党・いさま》

ごみ収集車1000日以上 無事故達成について



市ごみ収集車の無事故継続日数が10月2日で1000日となったことは、収集員のプロ意識の高さ、使用車両等への愛護精神、士気の高さのたまものであり、職員の努力に最大限の敬意と賛嘆の念をあらわしたいと思います。この偉業についての市長の率直な感想をお聞かせください。また、収集車にさまざまなラッピングをするなどの工夫は、ごみ減量化を目指したごみ分別減量化啓発活動の一環で始められたものであるとも考へますが、この啓発活動によるごみの分別化、減量化の具体的な効果をお示しください。



座間駅前 夢のある市街地整備を！

熊切 和人 議員《自民党・いさま》

小田急線座間駅前にあるホシノタニ団地が、老朽化した住宅を地域に開かれた交流の場として再生したことが先端的な試みとして高く評価され、2016年度グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）に輝いたことは、本市にとっても喜ばしいことと思います。団地周辺は小田急電鉄の所有地ですが、市民からは、座間駅前に夢のある市街地整備を望む声が多いのが現実であり、市としても積極的に小田急側と折衝していく姿勢も必要と考へますが、市長の所見を伺います。

市ごみ収集車の無事故継続日数が10月2日で1000日となったことは、収集員のプロ意識の高さ、使用車両等への愛護精神、士気の高さのたまものであり、職員の努力に最大限の敬意と賛嘆の念をあらわしたいと思います。この偉業についての市長の率直な感想をお聞かせください。また、収集車にさまざまなラッピングをするなどの工夫は、ごみ減量化を目指したごみ分別減量化啓発活動の一環で始められたものであるとも考へますが、この啓発活動によるごみの分別化、減量化の具体的な効果をお示しください。

請願・陳情の 提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。提出された請願・陳情は3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。

なお、定例会ごとの締め切り日については、議会事務局にお問い合わせください。

☎046(252)8872

